



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 TEL25-4854/fax24-8204
ホームページ www.icp-isesaki.net/ メールアドレス sigidan@icp-isesaki.net

新型コロナから命・くらし守る要望提出



五十嵐市長に要望書を手渡す議員団

12月定例会が11月29日から12月17日まで開かれました。
北島元雄市議が介護保険等について一般質問、長谷田公子市議がギガスクール構想の補正予算等について議案質疑しました。

予算要望書提出

10月27日感染症対策を中心とした予算要望を提出し、五十嵐市長のほか副市長・教育長・財政部長も同席しました。重点要望項目について議員団から説明しました。
市長は「残る任期中、新型コロナの影響から市民を守るために全力をつくす」と述べました。

要望項目 (抜粋)

- ★リスクのある地域や集団の網羅的検査、病院・介護施設・保育所などケアを担う施設での定期的な検査をし、無症状感染者による感染拡大を防ぐこと。
- ★保健師を増員し保健所と連携を強め、リスクのある所への訪問指導などに努めること。
- ★市としてコロナ差別やバッシングを許さないメッセージを、強力に発信すること。
- ★小、中学校の少人数学級を独自にも推進し、教室内の3密対策をとること。
- ★休校での遅れを取り戻すため詰め込みになることなく、子どもへのストレスに配慮した学習計画と学校運営に努めること。
- ★学生が勉学を続けられるように、市としても支援を行うこと。
- ★文化の灯を守るためにも、市有施設の利用料を入館制限人数に応じて引き下げること。
- ★コロナ対応の国民健康保険税、介護保険料の減免措置については広報と申請支援をすること。
- ★コロナで打撃を受けた地域経済に直接支援を継続すること。
- ★いせさき商品券・住宅リフォーム助成について、来年度は助成割合を増やし落ち込んだ需要喚起に努めること。

少人数学級を求める意見書を採択

9月の定例会で共産党議員団が紹介議員となった、「少人数学級を求める意見書を国に提出するよう求める請願」が継続審議になっていました。

今議会では、同様の意見書を議会運営委員10名全員の発議で議案提案することを決

め、全議員の賛成で国に意見書を送りました。

3密は危ないと言いながら40人学級を続ける政府ですが、文部科学大臣も少人数学級の必要性を言いはじめ、機は熟しています。コロナ禍の下におかれた子どもたちに大きな世論で少人数学級をプレゼントしましょう。